

令和6年度 神奈川県警察・生損保連絡協議会総会を開催

～神奈川県警等と連携し、不当・不正請求排除に向け取り組む～

神奈川県損保警察情報連絡協議会(会長:南井 敬司 東京海上日動火災保険株式会社 横浜中央支店長)では、生命保険協会神奈川県協会と合同で、11月6日(水)16時からロイヤルホールヨコハマ5階ロビーの間で、令和6年度神奈川県警察・生損保連絡協議会総会を開催し、県警、生損保などから37名が出席しました。

損害保険業界では、1979年から民事介入暴力団対策および不正請求対策として、関連諸機関と連携を図り、健全な損害保険事業の運営を行うため、全国にこのような協議会を設けています。当協議会は1981年に設置され、当支部が事務局として運営していますが、神奈川県では全国で唯一、設立当時から生保協会と損保協会合同で連絡協議会の総会を行っています。

初めに、生保協会神奈川県協会佐藤副会長(住友生命 横浜支社長)からの挨拶の後、損保側の挨拶として、南井損保会長から「本協議会総会を通じて、生損保両業界と警察関係者の方々と一層の連携をはかり、引き続き、保険犯罪の予防と排除に徹し、社会の健全な発展に寄与して参りたい。」との挨拶がありました。

続いて、県警からの挨拶として、刑事部刑事総務課の向井課長を皮切りに、3部8課(刑事部刑事総務課、生活安全部生活安全総務課、捜査第一課、捜査第二課、捜査第三課、暴力団対策課、国際捜査課、交通部交通捜査課)の各課長ならびに暴力追放推進センター、自動車安全運転センターから県内の犯罪情勢や保険金絡みの事件などの事例報告等がありました。また、生損保の日頃からの捜査関係事項照会書への回答など、捜査への協力に対して謝意があり、引き続き、捜査への情報提供などに協力願いたい旨、依頼がありました。

最後に、情報交換として、生損保双方から保険金請求不正防止などの活動報告があり、損保側からは、神奈川損害サービス部会の柿原部会長(東京海上日動火災保険株式会社 神奈川損害サービス部長)から、損保協会の取組みとして、「損保業界における情報交換」「自動車盗難防止に向けた対応」「捜査関係事項照会書への対応」「悪質な住宅修理業者への対応」の4点について説明がありました。

今後も、関東支部では、健全な損害保険事業の運営を行うため、県警等の関係機関と協力しながら、保険金不正請求防止に鋭意取り組んでまいります。



南井損保会長からの挨拶



神奈川県警刑事部刑事総務課向井課長



柿原神奈川損害サービス部長による活動報告



協議会の様子